



～安心を支えつつけて100年～

一般社団法人 栃木県建設業協会
会長 谷 黒 克 守

はじめに、令和4年度定時総会を無事終了することができました。本来ならば、より多くの会員の皆様にご出席を願い、ご意見を賜りたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き会員皆様の健康と安全に配慮し、規模縮小並びに時間短縮による開催とさせていただきます。表彰式につきましても、やむなく中止とさせていただきますが、栄えある表彰を受けた方々には、心からお祝いを申し上げます。

まずもって、昨年は、鳥インフルエンザ及び豚熱がたて続けに発生しましたが、会員皆様の日頃の鍛錬と力の結集により、迅速かつ的確な対応をとることができました。これは「地域の守り手」としての建設業の姿を広く県民の方々に知っていただく良い機会であったと思っており、関係した支部の皆様のご尽力に改めて感謝を申し上げますとともに深甚なる敬意を表します。引き続きこれら不測の事態に的確な対応がとれますよう、日頃から準備等に怠りなきようお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況が続く中、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格の高騰、資材不足、大規模災害の頻発、担い手不足など業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

我々建設業協会は、これらを克服するため、今年も引き続き新しい時代にふさわしい変革を遂げるため「構造改革」を推進することとし、公共事業予算の確保や受注機会の拡大に努めるとともに、真に会員皆様のためになる協会事業の推進に取り組んで参ります。

また、公共事業の執行や共同受注における様々な課題解決や制度改善に向けて、受発注者間の緊密な協議調整に努めて参ります。

さらに、働き方改革、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、生産性革命等にも積極的に対応するとともに、建設業の理解促進を図る広報活動にも取り組みながら、新しい担い手となる若者が魅力を感じる、新しい建設業へと進化を遂げていきたいと考えております。

当協会におきましては、いよいよ、今年の11月11日に創立100周年記念式典を予定しております。こうした節目の年を契機に、これからの100年に向けて新たな一步を踏み出したいと考えておりますので、会員皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後とも、会員相互の連携により、建設業が、県民の皆様の安全で活力に満ちた生活を実現する「地域の守り手」や「地域の創り手」としての社会的地位をしっかりと定着させていくために、皆様に有益な事業展開を図って参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。